

## 令和7年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	1	議席 番号	14	氏名	芦澤秀典 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	富士宮市内の小学校、中学校におけるカスタマーハラスメントについて			<p>近年、保護者から教職員への過度な要求や威圧的な言動、いわゆるカスタマーハラスメント（以下、カスハラ）が教育現場で問題となっている。教職員が安心して職務に取り組める環境を守ることは、子どもたちの健やかな学びを支えるためにも重要である。この件について、市の現状と今後の対策について、以下伺う。</p> <p>(1) 市内の小中学校におけるカスハラの実態把握について。</p> <p>① 保護者からの過度な苦情や威圧的な言動に関する実態をどのように把握しているのか、現状を伺う。</p> <p>(2) 教職員の相談体制及び精神的支援について。</p> <p>① カスハラを受けた教職員に対し、相談窓口や心のケアなど、どのような支援体制を整えているのか。</p> <p>(3) 学校現場における初期対応のマニュアルについて。</p> <p>① 適切な初期対応を行えるよう、マニュアルや指針の整備状況と今後の方向性を伺う。</p> <p>(4) 市独自のカスハラ対策指針の策定について。</p> <p>① 他の自治体では、教育委員会が対策指針を定める事例もある。本市でも独自に策定する考えがあるのか。</p> <p>(5) 教職員向けの研修や啓発活動の実施状況について。</p> <p>① カスハラ対応能力を高めるために教職員向けの研修や情報共有の場の確保について、どのような取組がなされているのか。</p> <p>(6) 保護者への理解促進と啓発の取組について。</p> <p>① 学校と保護者の適切な関係づくりのために、市としてどのような啓発活動や情報発信などを行っているのか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
2	宿泊費補助制度について			<p>富士宮市は豊かな観光資源に恵まれているものの、観光客の多くが市内に滞在せず「通過型」となっている現状がある。滞在促進のため、宿泊費補助制度の導入について、以下伺う。</p> <p>(1) 市内宿泊者数の現状と課題について、どのように分析しているのか。</p> <p>(2) 市として、観光客向けの宿泊費補助制度を導入する考えはあるのか。</p> <p>(3) 宿泊費補助によって観光客の滞在を促進し、地域経済の活性化につなげることについて、市の見解を伺う。</p> <p>(4) 近隣自治体では、研修やインターンシップなどに対する宿泊費補助も行っているが、本市で同様の制度を導入できない理由は何か。</p> <p>(5) 今後、試行的に宿泊費補助制度を実施する予定はあるのか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長